

## 第 3 章 商業振興計画

---

## 1 商業の将来像

### ～地域に根ざした魅力ある商店・商店街づくり～

#### (1) 商業振興の基本的な考え方

人口減少時代・少子高齢社会の到来、IT化（インターネットの普及）といった日本を取り巻く社会環境は大きく変化しており、本市においても商業者の高齢化、後継者難等に加え、近隣市における商業核の充実、電子商取引（EC）市場の拡大、モータリゼーションの進展に伴う郊外型の商業集積などへの対応の遅れ等から、消費者の商店街離れは進み、既存中心商業地の賑わいが失われています。

しかしながら、その一方、産直生鮮市場「ふれあいプラザ本町」の例にみられるような身近な買物の場の存在も今後よりいっそう進む高齢化社会を見据えた場合、買い物弱者対策と並んで欠かせない対策であることも事実です。

また、緑豊かな本市には、都心から一番近い収穫体験・味覚狩りが可能である地区や複数の大型店の進出により交流人口が拡大している地区も存在しており、地域ごとに置かれている状況は様々です。

以上のことを踏まえ、これからの本市の商業振興については、商業者の自助努力を基本とし、地域コミュニティの顔として、単なる買い物の場であるだけでなく、まちの賑わいと交流、あるいは見守りの場として地域に密着した商店街づくりを進めます。

個店の輝きなくしては、商店街の活性化は難しいことから、一店逸品運動、新商品開発など、魅力ある個店の育成・強化を図るとともに、インターネット販売など新たな販路の可能性を探り、商業活動の強化を進めます。

地域の買物の場として重要な位置を占める大型店に対しても、地域のイベントへの協力・参加など積極的な地域貢献を求め、地域住民を含む多様な主体が連携・協力した地域商業づくりを進めます。

豊かな地場産品など地域特性・資源を活かした魅力ある商業機能の強化を進めます。

これらの商業振興を推進する人材・リーダーの育成に努め、市と産業経済団体が協力して、各種支援を行い、地域経済の活性化を図っていきます。

## 2 商業振興の基本目標と基本方針

商業の将来像「地域に根ざした魅力ある商店・商店街づくり」の実現に向け、本市の商業がめざす3つの基本目標を設定し、その達成に向けて基本方針を以下のとおり定めます。

### 基本目標1 地域に密着した商業機能の展開

#### ■ 基本方針

##### (1) 地域が支え、地域を支える商店街づくりの推進

- 高齢者の商店街利用が多いことから、高齢者の日常生活の支援をはじめ、多様な世代のコミュニケーションを図ることができるよう、地域住民の交流の核となる商店街の形成を図ります。
- 商店街は、大型店には見られない地域住民の交流、情報交換の場として機能してきたが、商店街の衰退とともにこの機能が薄れつつあります。このためコミュニティ機能の導入を図ります。
- 地域エリアごとの消費者からのニーズに応えるため、市民（消費者）との交流を積極的に行い消費者の意向を十分に考慮した地域密着の商店街形成を図ります。

##### (2) 利用しやすい商業環境づくりの推進

- 商店街は、地域住民の生活基盤を支え、地域コミュニティの核としての役割を担っていることから、今後、一層進む高齢化社会など取り巻く社会環境の変化に対応したサービス等の提供を検討します。

### 基本目標2 個店と商店街の商業活動の強化

#### ■ 基本方針

##### (1) 個店・商店街の魅力づくりの推進

- 地元住民にとっても観光客や大型店からの立ち寄り客にとっても、行ってみたい、寄ってみたいと思わせるよう、一店逸品等の活動を通じて魅力ある個店の育成を図ります。
- 商店街においては、既存店舗の魅力向上だけではなく、空き店舗を活用して新しい魅力的な店舗を誘致することなども検討します。
- 商業の活性化については、中心市街地だけではなく地域住民の利便性向上の視点から地域エリアごとに商業の魅力づくりを推進します。

##### (2) 商店街組織の活性化とリーダーの育成

- 消費者や事業者自身から商店街の活気のなさや組織としての活動不足について指摘されていることから、商店街の連携や各商店街関係者の交流等を促進し、組織力の強化を推進します。
- 商業の活性化推進のためには、活性化に向けて商店街組織をまとめ、新しい魅力づくりを積極的に進めるリーダーが不可欠であることから地域商業づくりリーダーの育成を図り、活性化へ向けた気運の醸成を図ります。

### (3) 情報化への対応

- インターネット等の普及により通信販売が成長し、消費者アンケートにおいても衣料品購入に活用されているとの結果が出ていることから、IT 技術の習得・ホームページの開設、活用など情報化の推進を図ります

### (4) 商業者の支援の拡充

- 近年、少子高齢化社会の進展により消費者のニーズは多様化している。このような商業環境の変化に対応するためには店舗経営者自ら意識改革する必要があるため、経営相談の強化や各種アドバイザーの活用などの支援を進めます。
- 個店、商店街の繁栄のためには、各店舗の後継者を育成し元気な商店街を維持することが必要と考えます。このため、店舗を長期的に経営できる意欲あふれる後継者の育成に取り組むとともに、外部からの後継者の誘致もあわせて検討します。

### (5) 大型店と商店街との連携

- 木更津駅周辺の歴史文化や魅力ある飲食店、及び駐車場の位置などを三井アウトレットパーク木更津、平成26年開業予定のイオンモール木更津への来訪者にPRし、木更津駅周辺に誘引することにより、にぎわいのある商店街を創出します。また、新規に立地する大型店に対しても連携と協力を呼びかけていきます。

## 基本目標3 地域特性を活かした魅力ある商業機能の強化

### ■ 基本方針

#### (1) 木更津ブランドの創出

- 本市には、あさりや海苔などの海産物の他、ブルーベリーやいちご、梨などの農産物があり、市内の農商工が連携し、これらを使った新しい特産品を開発するなど、木更津にしかないもの、木更津でしか味わえないもの、木更津市でしかできないもの、といった木更津ブランドの創出を図ります。
- 本市には、潮干狩りをはじめ、ブルーベリーやいちご、梨などの観光農園が多く立地し、収穫シーズンには家族連れで賑わっていることから、商店街においてもこれら特産物（加工品）の販売等を検討するとともに、首都圏からの来訪者が観光農園も利用するようPRを行うなど、商業と観光と一体となった商業振興を推進します。
- 地元の農水産物を使った特産品の開発など地産を進めるとともに、飲食店などに対して平成24年度に作成したレシピブックの活用をPRし、地産地消の拡大を図ります。

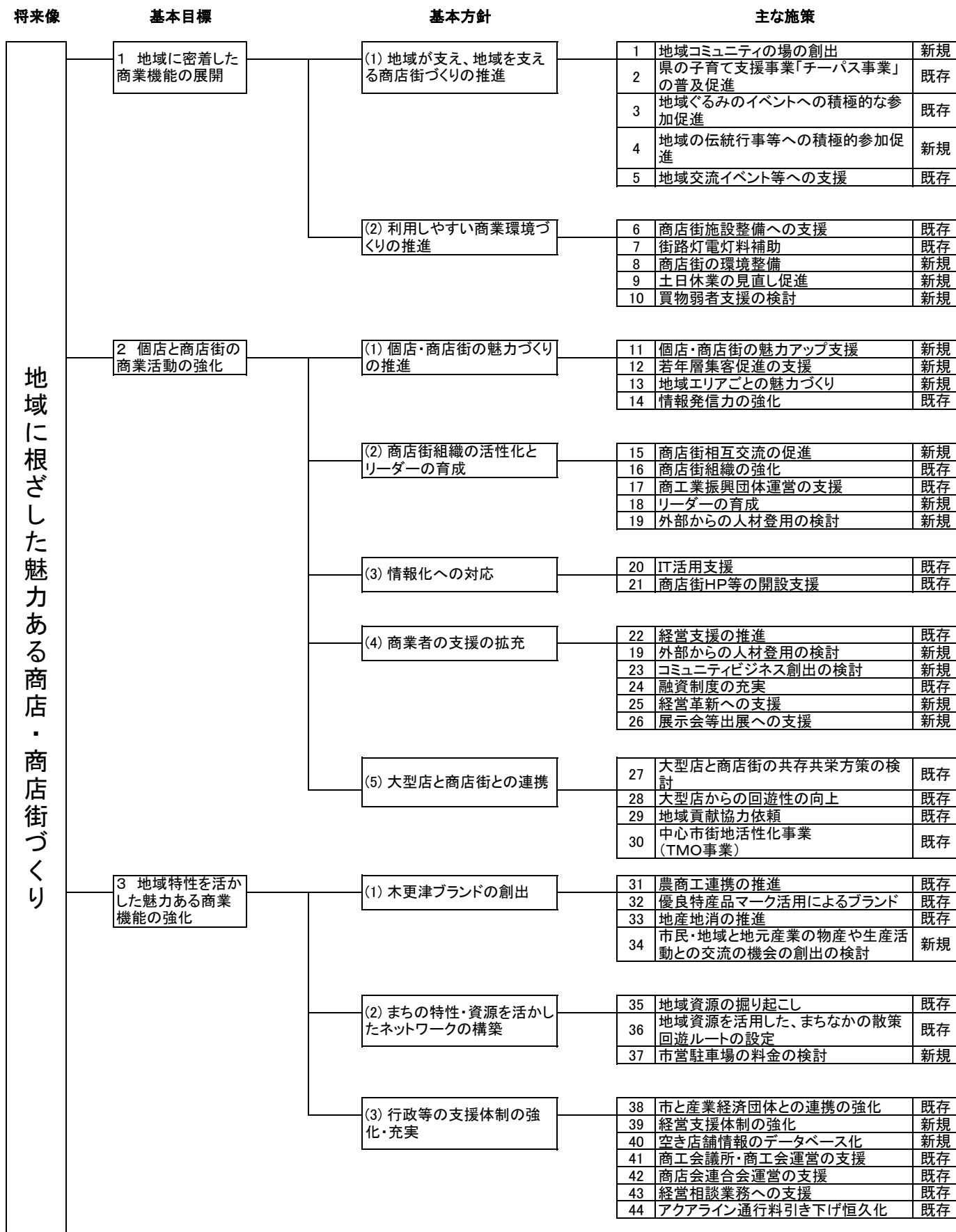
#### (2) まちの特性・資源を活かしたネットワークの構築

- 木更津駅西口には、町の歴史を今に伝える神社仏閣が多く存在し、横町の風情を残す所もあります。また木更津港周辺では地元の魚介類を食べられる店も立地するなど、木更津駅周辺地区は、地区の歴史文化や海産物の豊かな地区です。近年は「見る」観光から「知る」、「味わう」観光にシフトしていることからこれらの活性化資源を活用し、来訪者のまちへの関心を高め、来訪者の増加を図ります。

### **(3) 行政等の支援体制の強化・充実**

- 商店街の活性化を進めるためには、地元を対象とするだけでなく同時に幅広い集客力を持つ必要があると考えます。このため、新たに創業する事業者や空き店舗を活用して新規開店する事業者に対して行政をはじめ関係団体（商工会議所、商工会）等が集中的な支援を行い、その活動を支えることも検討します。
- 商工会議所、商工会、商店会連合会等の産業支援を行う団体の運営について、支援を行い、地域経済の活性化を図ります。

### 3. 木更津市商業振興計画施策体系



#### 4. 商業振興の施策

基本目標1 地域に密着した商業機能の展開

■ 基本方針 (1) 地域が支え、地域を支える商店街づくりの推進

① 人にやさしい商店街づくりの推進

No.	区分	施策名	施策概要	実施主体	スケジュール						
					H26	H27	H28	H29	H30	H31~H35	
1	新規	地域コミュニティの場の創出	子育て世代や高齢者等の交流を推進するキッズサロンやコミュニティサロンなど、空き店舗等を活用した地域コミュニティの場の創出を支援します。	市 商店街			検討	実施			
2	既存	県の子育て支援事業「チーパス事業」の普及促進	地域貢献や子育て支援に協力的な事業者としてイメージアップにもつながることから、千葉県が実施している子育て支援事業「チーパス事業」の周知を支援し協賛事業者の促進を図ります。	市	継続実施						

② 地域との連携事業の推進

No.	区分	施策名	施策概要	実施主体	スケジュール						
					H26	H27	H28	H29	H30	H31~H35	
3	既存	地域ぐるみのイベントへの積極的な参加促進	「木更津バル・屋台村」など、地域ぐるみのイベントへの積極的な参加促進を図ります。	事業者	継続実施						
4	新規	地域の伝統行事等への積極的な参加促進	地域の伝統行事等への積極的な参加を促進します。	市 事業者	実施						
5	既存	地域交流イベント等への支援	観音まつり、祇園商業祭、富来田商工祭、かずさヨサコイ木更津舞尊等の商店街等が開催する市民(消費者)との交流を積極的に行い、商店街の活性化を推進するイベント等を支援します。	市 商店街	継続実施						

■ 基本方針 (2) 利用しやすい商業環境づくりの推進

No.	区分	施策名	施策概要	実施主体	スケジュール						
					H26	H27	H28	H29	H30	H31~H35	
6	既存	商店街施設整備への支援	市民が集う憩いの場として快適さを実感できる街並みとしての商店街を形成するため、街路灯のLED化などの共同施設の整備に要する費用の一部を支援します。	市 商店街	継続実施						
7	既存	街路灯電灯料補助	商店街振興、消費者の夜間購買力の向上を図るため設置した街路灯の電灯料の一部を補助し、商店街の活動を支援します。	市	継続実施						
8	新規	商店街の環境整備	高齢化が進んでいることから商店街周辺のバリアフリー化推進など安心歩行エリアの形成を図ります。	市			検討	実施			
9	新規	土日休業の見直し促進	大型店の進出による交流人口の増加に対応して土・日曜日の休業店に対して見直しの検討を依頼します。	市 事業者	実施						
10	新規	買物弱者支援の検討	商店街による高齢者等の買い物弱者に対する「電話注文」や「宅配サービス」の取組を検討します。	市 商店街		検討	実施				

基本目標2. 個店と商店街の商業活動の強化

■ 基本方針(1) 個店・商店街の魅力づくりの推進

① 消費者ニーズを満たす店舗の創造

No.	区分	施策名	施策概要	実施主体	スケジュール						
					H26	H27	H28	H29	H30	H31~H35	
11	新規	個店・商店街の魅力アップ支援	商店街単位又は全市的な「一店逸品」運動の展開と運動参加の看板を掲げるなど魅力アップ事業を支援します。	市 産業経済 団体 商店街	検討	実施					
12	新規	若年層集客促進の支援	空き店舗等を活用し、住民や若者と連携した「ガレッジセール」や「フリーマーケット」の開催等による若年層の集客促進を支援します。	市 産業経済 団体 商店街				検討	実施		
13	新規	地域エリアごとの魅力づくり	地域住民の利便性向上のため、地域ごとの商業の魅力づくりを検討します。	商店街 市 産業経済 団体					検討	実施	

② 個店・商店街の効果的なPRの推進

No.	区分	施策名	施策概要	実施主体	スケジュール						
					H26	H27	H28	H29	H30	H31~H35	
14	既存	情報発信力の強化	HPを活用したPR活動を行うなど、商業振興に向けた活動の情報発信力の強化を支援します。	市 商店街 事業者	継続 実施						

■ 基本方針(2) 商店街組織の活性化とリーダーの育成

No.	区分	施策名	施策概要	実施主体	スケジュール						
					H26	H27	H28	H29	H30	H31~H35	
15	新規	商店街相互交流の促進	商業振興に係るイベントなどの実施について中心的役割を果たしている人材や組織との交流を促進し組織力の強化を図ります。	市 産業経済 団体 商店街		検討	実施				
16	既存	商店街組織の強化	県主催の商店街アドバイザー派遣事業などの活用促進や、商店街の合併の検討などにより商店街の組織強化を推進します。	市 産業経済 団体 商店街	継続 実施						
17	既存	商工業振興団体運営の支援	中小企業等協同組合、商店街振興組合等が行う、商工業振興のための共同事業の運営に要する費用に対して一部を支援します。	市	継続 実施						
18	新規	リーダーの育成	自発的勉強会、ネットワーク作りへの支援や県等が行う経営セミナー、経営塾「ふさの国商い未来塾」等の活用促進によりリーダーの育成を図ります。	市 産業経済 団体		検討	実施				
19	新規	外部からの人材登用の検討	商店街の個店の後継者(経営者)や空き店舗活用者を公募するなど、外部人材の積極的登用を検討します。	商店街				検討	実施		



■ 基本方針 (3) 情報化への対応

No.	区分	施策名	施策概要	実施主体	スケジュール						
					H26	H27	H28	H29	H30	H31~H35	
20	既存	IT活用支援	ITを活用した個店・商店街の情報発信やネットを活用した販売の推進を図るため、ITスキル研修会の開催やアドバイザーの派遣を行います。	市 産業経済 団体	継続 実施						
21	既存	商店街HP等の開設支援	インターネットを活用して商店街ブログを立ち上げ、木更津市の商店街・個店のPRに努めるほか、ネット販売の推進を支援します。	市	継続 実施						

■ 基本方針 (4) 事業者の支援の拡充

No.	区分	施策名	施策概要	実施主体	スケジュール						
					H26	H27	H28	H29	H30	H31~H35	
22	既存	経営支援の推進	商工会議所、商工会、商店会連合会、行政などによる商店を対象とした経営相談会等の実施や専門コンサルタントの派遣などによる経営支援の推進をします。	市 産業経済 団体	継続 実施						
再掲 (19)	新規	外部からの人材登用の検討	再掲								
23	新規	コミュニティビジネス創出の検討	商店街を中心とするコミュニティビジネスの創出の検討をします。	商店街				検討	実施		
24	既存	融資制度の充実	事業に必要な運転資金や設備投資資金の調達を支援し、中小企業の経営安定や事業展開を促進するため、融資利率、融資枠、融資メニュー、利子補給などの充実に努めます。	市	継続 実施						
25	新規	経営革新への支援	積極的に経営革新に取り組む企業を支援するため、中小企業新事業活動促進法に基づく「経営革新制度」に係る経営革新計画作成費用の一部を助成します。	市	実施						
26	新規	展示会等出展への支援	大規模な展示会等へ出展する中小企業への出展料の一部を助成し、販路拡大を支援します。	市	実施						

■ 基本方針 (5) 大型店と商店街との連携

No.	区分	施策名	施策概要	実施主体	スケジュール						
					H26	H27	H28	H29	H30	H31~H35	
27	既存	大型店と商店街の共存共栄方策の検討	三井アウトレットパーク木更津や平成26年秋に開業予定のイオンモール木更津の来店客に木更津のまちなかの魅力の積極的なアピール、共通カードの導入や大型店と商店街との棲み分けを図るなど共存共栄の方策の検討をします。	市 産業経済 団体 商店街	継続 実施						
28	既存	大型店からの回遊性の向上	大型店への来訪客等、市外からの来訪者に対して既存市街地の店、イベント、観光スポットなどをPRし、誘客を図ります。	市 産業経済 団体	継続 実施						
29	既存	地域貢献協力依頼	大型店に対して地域のイベントへの協力・参加など計画的な地域貢献を求めています。	市 産業経済 団体	継続 実施						
30	既存	中心市街地活性化事業 (TMO事業)	中心市街地活性化に向けた木更津TMO構想事業の推進に必要な費用の一部を支援します。	市	継続 実施						

基本目標3. 地域特性を活かした商業機能の強化

■ 基本方針 (1) 木更津ブランドの創出

①農商工の連携によるブランディングの推進

No.	区分	施策名	施策概要	実施主体	スケジュール						
					H26	H27	H28	H29	H30	H31~H35	
31	既存	農商工連携の推進	商店街において、あさりや海苔、ブルーベリーやいちご、梨などの農産物を使ったジャムなどの加工品の販売等を推進し、首都圏からの来訪者が観光農園も利用するようPRを行うなど、商業と農業、特産品生産・加工業と一体となった商業振興を推進します。	市産業経済団体	継続実施						
32	既存	優良特産品マーク活用によるブランド化 ※農業振興総合計画事業	優良特産品マークの位置付けを明確化し、安全・安心・おいしい木更津ブランドとしての確立を目指します。また、同マークについて情報発信を行い、事業者・消費者ともに知名度の向上を図ります。また、市独自の指標の検討を行い、生産者や消費者がわかりやすい優良特産品の基準を提示し、木更津ブランドの振興を図っていきます。	事業者	継続実施						

②地産地消の推進

No.	区分	施策名	施策概要	実施主体	スケジュール						
					H26	H27	H28	H29	H30	H31~H35	
33	既存	地産地消の推進 ※農業振興総合計画関連	農業・水産業と連携した地場産品の販売機能の強化による地産の振興や地場産品を使用した飲食店の立地推進による地消活動の振興を図ります。	市産業経済団体	継続実施						
34	新規	市民・地域と地元産業の物産や生産活動との交流の機会の創出の検討	市内の農業・水産業や商工業の物産や生産活動と成果を紹介する、見て・聞いて・触れ合うことができる「(仮称)木更津産業祭」開催の検討をします。	市産業経済団体 事業者	検討		実施				

■ 基本方針 (2) まちの特性・地域資源を活かした回遊ルートの構築

No.	区分	施策名	施策概要	実施主体	スケジュール						
					H26	H27	H28	H29	H30	H31~H35	
35	既存	地域資源の掘り起こし	地域の農水産物に係る既存飲食店や史跡、伝統文化などの資源の掘り起こしを推進します。	市産業経済団体 事業者	継続実施						
36	既存	地域資源を活用した、まちなかの散策回遊ルートの設定	来訪者がみなと周辺や駅周辺の寺社仏閣などを楽しく散策でき、かつ木更津を味わうことができる回遊ルートの設定をします。	市産業経済団体	継続実施						
37	新規	市営駐車場の料金の検討	来訪者がゆとりを持ってまちなかを散策できるよう、市営駐車場の利用しやすい料金の検討をします。	市	検討		実施				

■ 基本方針 (3) 行政等の支援体制の強化・充実

No.	区分	施策名	施策概要	実施主体	スケジュール						
					H26	H27	H28	H29	H30	H31~H35	
38	既存	市と産業経済団体との連携の強化	定期的な連絡会議の開催などにより市と商工会議所・商工会・商店会連合会などの連携を強化し、支援事業・活動の見直し、充実を検討します。	市産業経済団体	継続実施						
39	新規	経営支援体制の強化	個店・商店街の魅力向上に資する店舗及び商業活動に積極的な姿勢をみせる店舗について、経営から運営まで行政、関係団体、商店街が一体となった集中支援を実施します。	市産業経済団体		検討	実施				
40	新規	空き店舗情報のデータベース化	外部から商店街の空き店舗に関する問い合わせがあったときに即座に答えられるよう、空き店舗の面積や構造、立地場所等のデータベース化を推進します。	商店街産業経済団体	検討・調査	実施					
41	既存	商工会議所・商工会運営の支援	地域経済の中心的役割を果たす商工会議所及び商工会の運営費用の一部を支援することにより財政基盤の強化を図ります。	市	継続実施						
42	既存	商店会連合会運営の支援	商店会連合会が行う商業振興及び地域経済発展のための共同事業運営に要する費用の一部を支援します。	市	継続実施						
43	既存	経営相談業務への支援	商工会議所、商工会が行う中小企業経営相談等の事業に要する費用の一部を支援します。	市	継続実施						
44	既存	アクアライン通行料引き下げ恒久化	東京湾アクアラインの通行料の引き下げの恒久化に向け国に対して県と連携した積極的な働きかけを行います。	市産業経済団体	継続実施						